通告順	通告者	質問主題 (質問の区分)	質問要旨	答弁者
(1)	宮嶋	1. デマンド型乗合タクシーの存続を含めた、次年度以降の公共交通のあり方について	デマンド型乗合タクシーの存続を含め、新たな公共交通のあり方が検討されているところですが、来年4月からどのような形になる方向か、また、市民生活にどのような影響が及ぶと考えているか、お伺いします。	市長及び 担当部長
(1)	【一問一答】	2. 市民からの行政への 要望の取り扱いについて	市民から寄せられる様々な要望について、その取扱いについて不満の声が聞こえます。庁舎内ではどのような基準や手順で対応をしているのか、また、市民の不満を解消するために改善していく意向があるか、お伺いします。	市長及び 担当部長

通告	通告者	質問主題		
順	\ <u></u> 1	(質問の区分)	APAZ F	答弁者
(2)		1. 本市のデジタル化の 現状 (課題) と今後の計 画について	新型コロナウイルスの感染拡大の中、政府をはじめ、企業間においては、改めて日本のデジタル化の出遅れが認識され、デジタル化を前提とした業務、慣習の見直し、変革を早急に推進しなければならない状況にあります。こうした中、本市のデジタル化の現状(課題)と今後の具体的な計画について、お伺いします。①行政手続きのデジタル化や書類の使用押印を前提とした業務の見直しについて②小中学校のデジタル化について③公共インフラ整備(道路・上下水道)のデジタル化について④住居表示のデジタル化について	市長及び 担当部長

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者	
(3)	川村 成二 【一括方式】	(質問の区分) 1. 雪入山・浅間山周辺のハイキングコースの維持管理と環境保護について	①三ツ石森林公園から浅間山につながるハイキングコースは、絶滅危惧植物に指定されたキンランが自生しており、ボランティアにより整備され株数も増えているが、一部国有林を通る部分の借用手続きがされていないとの指摘があったと聞いている。市として雪入山・浅間山周辺のハイキングコースの維持管理はどのように進めてきたのか、また、国有林を通るコースの今後の対応策について伺う。 ②雪入山・浅間山周辺は、筑波山地域ジオパークの筑波・鶏足山塊ゾーンの雪入・三ツ石ジオサイトに指定されていることから、環境保護は重要である。茨城県では発生していないとされていたナラ枯れの被害がこの地域で発生している可能性があると聞いた。ナラ枯れをおこす害虫は、一本の木から数万匹が飛び出し、周辺のコナラやミズナラの樹幹に潜入し枯死させる伝染病で、被害を受けた神奈川県や愛知県ではナラ枯れついての対応をインターネット上に公開している。被害の発生を迅速に把握し、初期の段階で防除を行うことが最も重要であり、本市も早急に対策に取組むことが必要と考えることから市の見解を伺う。	市長及び 担当部長	
		2. 小中学校の新型コロ ナウイルス対策による教	①新型コロナウイルスへの対応が長期化していることから、消毒作業や学習遅れの 挽回、3密対策など、教職員の業務負担が増していると考えられる。 本市の教職員の現状と、負担増への対応策について伺う。	教育長及び	
		職員の負担増への対応と 生徒・児童の学習時間の 確保について	職員の負担増への対応と 生徒・児童の学習時間の 確保について ②新型コロナウイルスの感染症対策のため臨時休業等の対応を余儀なくされ ことから、学習の遅れが懸念されているが、本市の児童・生徒への学習の遅	②新型コロナウイルスの感染症対策のため臨時休業等の対応を余儀なくされてきたことから、学習の遅れが懸念されているが、本市の児童・生徒への学習の遅れへの対応についてどのような状況にあるのか。また、児童・生徒へ一人に一台のPCと通信ネットワークを整備した創造性を育む教育の進捗について伺う。	担当部長

通告順	通告者	質問主題 (質問の区分)	質問要旨	答弁者
			①石岡市の官製談合について、市長の見解を問う。 ②予定価格の事後公表について、再度改めて問う。	市長及び 担当部長
			③最低制限価格の問題とあり方について、再度改めて問う。	
			①土浦市ではインフルエンザ予防接種助成を拡充しているが、新型コロナウイルス 感染症とインフルエンザ対策について、問う。	
(4)			②第3回定例会一般質問の冒頭発言で要請した2点、第1、医療機関や福祉施設、保育園、学校を含む大きな施設の職員と出入り業者に対し定期的なPCR検査を実施。集団感染が発生した施設は全利用者を対象に検査すること。第2、無症状・軽症の陽性者の宿泊施設の確保と自宅待機者への生活物資・医療支援を行うことについて、問う。	市長・教育 長及び担当 部長
			③今後の対策として「いつでも、どこでも、何度でもPCR検査を」とする観点について、問う。	
		3. 食料の地産地消の取 組について	生産の現場では、「高齢化」「後継者不足」などでいつ生産を止めてもおかしくない状況が続いている。いまほど米も含めた食料の地産地消が求められている時はない。当市における食料の地産地消の取組と所得補償について、問う。	

通告		が明亜ビ	答弁者	
順	坦 百	(質問の区分)	· 真问安日	台井有
		1. いのちと暮らしを守る新型コロナウイルス第3波感染症対策-避難所の運営と整備について	新型コロナウイルス第3波の対策が喫緊の課題となっています。 茨城県の第2波は第1波を上回り、冬季第3波感染を防ぐ感染防止・クラスター対策は、まず第1に感染には原因傾向があること、第2に家族感染―クラスターをいかに防ぐかにあります。発生した家族感染、防災、避難所訓練には学ぶべきことがあります。以下質問します。 1)感染者クラスター対策について (時系列的に実施された内容報告をお願いします。対策本部・教育・保健福祉の各部局に報告と対策の説明を求めます。) 2)防災士・職員の命がけの避難所での誘導・対応の感染防止対策について 3)学校体育館避難所の電源・水道ーライフライン操作の現況と対策について 4)避難所に指定されている閉校含む小中学校体育館の耐震工事の現況と実施計画について	市長・教育 長及び担当 部長
(5)	設楽(健夫 【一括方式】	2. コンプライアンスー 政治倫理条例と「上佐谷 小学校廃校解体」記述の 「学校施設長寿命化計 画」実施マネジメントに ついて	かすみがうら市は、近隣市町村では既に制定されている政治倫理条例を未だに制定しておりません。政治倫理の規範とそれを監視できる市民の権利は市政の基本です。前回提案されていた市長特別職・議員一体型の引継ぎ文書確認をさせていただきました。コンプライアンスと透明なマネジメントの推進のために以下質問します。 1) 旧霞ヶ浦町の政治倫理条例は、合併後何故に継承されないのか、その理由について 2) コンプライアンスに反する「上佐谷小学校廃校と解体記述」の「小中学校施設長寿命化計画」報告書作成の起案から教育委員会の審議経緯について 3) 上佐谷小学校廃校と解体判断の経緯と今後のマネジメントについて 4) 新治小学校に併設されている児童館の長寿命化計画が含まれていないのは何故か、又今後の実施計画について	市長・教育長び担当部長

通告順	通告者	質問主題 (質問の区分)	質問要旨	答弁者
700		1. 移住定住・結婚支援	①婚活サポートセンターの支援内容と登録状況について伺う。 ②定住促進の観点から、積極的に結婚を支援するサポートセンターの成果について 伺う。	市長及び 担当部長
	棚 + 佐	事業について	・定住に繋げるための具体的な支援策及び婚活に対するサポート策について	
(6)	櫻井 健一 「一問一答」 ①避難所としての利用における現状と課題について伺う。			
		ターなどの現状と課題を 踏まえた今後の施設の有 効活用について	②施設の利用状況を踏まえた有効活用をどのように考えているのか伺う。	市長及び 担当部長
		③今後、農村環境改善センターのような観光施設を有効活用していくために具 にどのような方針なのか伺う。	③今後、農村環境改善センターのような観光施設を有効活用していくために具体的 にどのような方針なのか伺う。	

通告	通告者	質問主題	質問要旨	
順		(質問の区分)	與問及日	答弁者
(7)	来栖 丈治【一括方式】	コロナウイルスによる災	1月8日に新型ウイルスとWHOが認定してから11カ月が経過しようとしています。ワクチン開発、特効薬が特定されない中で、今後どこまで続くかわからない状況です。国県市をあげて対策が講じられていますが、給付金、交付金や補助金、貸付金の申請状況などから本市への影響について認識を伺います。あわせて、それら本市の実態から今後、中小企業の支援、失業者対策、生活困窮支援など、さらに支援が必要になる皆様への新たな生活支援策について伺います。 ①世帯や個人の皆様に対する支援策として、給付、貸付、猶予、減免などの申請状況について、本市の実態と分析を伺います。 ②中小企業、小規模事業者の皆様に対する支援策として、給付、助成、貸付、猶予、減免などの申請状況について、本市の実態と分析を伺います。 ③本市の失業者についての実態とそれらの支援策について伺います。 ④生活困窮者世帯の実態とそれらの支援策について同います。	市長及び担当部長

通告	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
(7)	来栖 丈治【一括方式】	質問主題 (質問の区分) 第波山系の山々に隣接の皆様は、長きにわたりイノシシ被害と向き合ってきました。霞ヶ浦地区については、私が議会で初めて質問した5年前ぐらいからのことです。この間、鳥獣対策予算の増額による捕獲艦の購入、わな免許の取得補助や国づけ金の活用により電気柵の補助や捕獲補助が行われ、地域ぐるみの捕獲対策などで進めています。しかし、イノシシの捕獲数はある程度上がっても、繁殖に追いたがず、年々生息範囲が広がり、住民生活の場にも被害が拡大しております。で、イノシシ対策の現状、対策の見直し、さらなる対策強化について伺います。①地域ぐるみでのイノシシ対策推進といいますが、実態、現状が見えてきません。どのような形で現在進めていて、成果、さらに広げる取り組みが行われているからいます。②猟友会の皆さんやわな免許取得者が捕獲した際、捕獲者にいくら支払われているのか、捕獲に携わっていただく報酬として労苦に見合ったものなのか、市の認識を伺います。 ③平地林の管理が行き届かない、そして、田畑の荒廃が進む中で、イノシシの生息範囲は広がる一方です。なんとかここで、平地のイノシシの絶滅に追い込むような対策が求められますが、市の取り組みについて伺います。	市長及び担当部長	
		3. 次世代自動車購入補助により、温室効果ガス排出ゼロ推進の一助について	菅総理の施政方針で、2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする。すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことが宣言されました。それらの政策を受け、本市として次世代自動車購入補助により、本市の温室効果ガス排出ゼロ推進のフラッグにすることについて伺います。	市長